

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人日本大学 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|----------|--------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 歯科衛生専門課程 | 歯科衛生士科 | 夜・通信 | 18単位 | 9単位 | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| ホームページによる公表 https://www.mascat.nihon-u.ac.jp/college/curriculum/syllabus.html |
|--|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 なし |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人日本大学 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページにて公表
http://www.nihon-u.ac.jp/about_nu/board/director/

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|--------|---------------------|---------------------|
| 非常勤 | 会社役員 | H29.9.10 ～R2.9.9 | ・組織運営体制への チェック機能 |
| 非常勤 | 国会議員 | H29.9.10 ～R2.9.9 | ・組織運営体制への チェック機能 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人日本大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1 1月に教務課から各講座に授業の実施を依頼し、講座の担当者を確定する。</p> <p>1月下旬に、講座責任者宛てにシラバス原稿の作成を依頼し、2月中旬に原稿が提出され、3月に教務課で校正を行い、庶務課を通じて4月1日にホームページ上に公開する。</p> <p>内容については、授業時間割と齟齬が無いことはもとより、授業方法及び内容、年間スケジュール、学修目標 (GIO)、単位数、準備学修項目、準備学修時間、成績評価の方法及びアクティブラーニングの有無などあらゆる情報を網羅するようにしている。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | <p>ホームページによる公表</p> <p>https://www.mascat.nihon-u.ac.jp/college/curriculum/syllabus.html</p> |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとして学修便覧等に公表している。</p> <p>また、授業科目ごとの成績評価方法についてはシラバスに、また、進級要件及び卒業要件については学修便覧に、それぞれ明記している。</p> <p>成績は、原則として、平常試験、定期試験、追試験、再試験により査定するが、授業科目によっては、その他の方法(受講態度、レポート、課題等)によって査定することがある。最高点については、定期試験受験者を100点、追試験受験者を79点、再試験受験者を69点とし、評価については、80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」として判定している。ただし、各科目において、総授業時間の3分の2以上の出席がなければ、定期試験を受験することができない。</p> <p>学年進級制であるため、各学年の配当科目は全履修また、選択科目を除いた全科目の平均点が60点以上であり、30点未満の科目が複数無いことを進級要件としている。ただし、校長、副校長、教務主任、教務課員、その他4名の専任教員により構成する「衛生専門学校ミーティング」を毎週実施し、進級要件未充足者が発生しないよう逐一確認し、対象者となりうる生徒に対しては、再試験等による成績が不合格とならないよう綿密な指導を行う。</p> <p>卒業要件については、各学年において進級条件を満たし、選択科目を8単位以上修得することとしている。</p> | |

| | |
|---|---|
| <p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>60点以上を各科目の合格とする原則を学則に定めている。また、本校では、修得すべき科目の全科目平均点を、成績評価の客観的な指標としている。</p> <p>全科目平均点の算出方法は、各科目の評価点を単位数で乗じ、全履修科目の総和を算出し、それを全履修科目の単位数の総和で除して算出する。全科目平均点の算出方法は、公開している。</p> <p>また、毎年度の全科目平均点の状況を分析し、試験作成の段階で、平均点(分布の山)を設定し適切な問題の作成を授業担当者に依頼している。</p> <p>最終的には、全科目平均点により1番から最下位までの序列化を行っている。</p> | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>ホームページによる公表</p> <p>https://www.mascats.nihon-u.ac.jp/data/pdf/college/curriculum/course_method.pdf</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)として学修便覧等で公表している。本校の教育方針に基づき各分野の授業科目を全て履修し、所定の単位を修得するとともに、「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけた自主創造型歯科衛生士としての以下の能力・感性を兼ね備えた者に専門士(医療専門課程)の称号を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者として高い使命感と倫理観を持ち、人間性豊かな感性 2. 先端歯科医療の知識と技術を修得し、医療の場で提供できる能力 3. 患者の様々なライフステージを理解した上で、最適な口腔健康管理を主体的に考え、行動することができる能力 4. 保健・医療・福祉等の医療チームの一員として果たすべき役割を正しく理解し、連携して歯科保健医療と福祉の向上に貢献できる能力 5. 生涯にわたり己を振り返り医療人としての資質を高めることができる能力 <p>卒業要件は、必修科目124単位を全て修得していることに加え選択必修科目から8単位以上修得していることとし、校長、副校長、教務主任、その他16名の専任教員及び事務職員4名で構成する学事委員会に諮られた後、学部長、校長、副校長、教務主任、その他1名の専任教員、事務局長、事務局次長及びその他2名の事務職員で構成する教員会が卒業生を判定する。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>ホームページ及び「学修便覧」で公開している。</p> <p>https://www.mascats.nihon-u.ac.jp/college/info/purpose.html</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人日本大学 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | http://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/ |
| 収支計算書又は損益計算書 | http://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/ |
| 財産目録 | http://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/ |
| 事業報告書 | http://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/ |
| 監事による監査報告（書） | http://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/ |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|-------------|-------|-------|-------|------|
| 医療 | | 歯科衛生専門課程 | 歯科衛生士科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 総単位数 132 単位 | 84 単位 | 38 単位 | 22 単位 | 0 単位 | 0 単位 |
| | | | 144 単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 120 人 | | 135 人 | 0 人 | 5 人 | 133 人 | 138 人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>1 1月に教務課から各講座に授業の実施を依頼し、講座の担当者を確定する。</p> <p>1月下旬に、講座責任者宛てにシラバス原稿の作成を依頼し、2月中旬に原稿が提出され、3月に教務課で構成を行い、庶務課を通じて4月1日にホームページ上に公開する。</p> <p>内容については、授業時間割と齟齬が無いことはもとより、授業方法及び内容、年間スケジュール、学修目標（GIO）、単位数、準備学修項目、準備学修時間、成績評価の方法及びアクティブラーニングの有無などあらゆる情報を網羅するようにしている。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとして学修便覧等に公表している。</p> <p>また、授業科目ごとの成績評価方法についてはシラバスに、また、進級要件及び卒業要件については学修便覧に、それぞれ明記している。</p> <p>成績は、原則として、平常試験、定期試験、追試験、再試験により査定し、厳格か</p> |

つ適正に評価し単位を与えている。
 学年進級制であるため、各学年の配当科目は全履修また、選択科目を除いた全科目の平均点が60点以上であり、30点未満の科目が複数無いことを進級要件としている。
 卒業要件については、各学年において進級条件を満たし、選択科目を8単位以上修得することとしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)
 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとして学修便覧等に公表している。
 本校の教育方針に基づき各分野の授業科目を全て履修し、所定の単位を修得するとともに、「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけた自主創造型歯科衛生士としての以下の能力・感性を兼ね備えた者に専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

1. 医療従事者として高い使命感と倫理観を持ち、人間性豊かな感性
2. 先端歯科医療の知識と技術を習得し、医療の場で提供できる能力
3. 患者の様々なライフステージを理解した上で、最適な口腔健康管理を主体的に考え、行動することができる能力
4. 保健・医療・福祉等の医療チームの一員として果たすべき役割を正しく理解し、連携して歯科保健医療と福祉の向上に貢献できる能力
5. 生涯にわたり己を振り返り医療人としての資質を高めることができる能力

学修支援等

(概要)
 毎日、授業終了後に教員室において、学生からの授業内容等に関する質問や勉強の方法、更には国家試験対策や将来の進路について相談を受け、丹念な個別指導を行っている。
 また、3年生に対しては、国家試験対策の授業を設置し、授業前に前日の授業内容の小テストを行い、授業の理解度を確認し、成績不振者に対しては国家試験の直前まで補講を行っている。
 更に、国家試験不合格者が発生した場合は、既卒者となった後も、聴講生として実例演習・総合演習の授業の受講を許可し、国家試験受験に向けたサポートを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---------------|------------|-------------------|--------------|
| 42人 (100%) | 0人 (0%) | 41人 (97.6%) | 1人 (2.4%) |

(主な就職、業界等)
 個人経営の歯科医院、会社の診療室又は総合病院、保険協会等が主な就職先となっている。

(就職指導内容)
 歯科医院等から送られてくる「歯科医師求人票」を随時受け付けており、受け付けた求人票は、学生が閲覧できるよう教室に設置している。

(主な学修成果(資格・検定等))
 国家資格「歯科衛生士」の取得。

(備考) (任意記載事項)

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 130 人 | 2 人 | 1.5% |
| (中途退学の主な理由) 病気療養, 進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 三者面談, 成績不振者に対するクラス担任との面談等 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|--|-----------|-------------|-----------|--------------------------------|
| 歯科衛生士科 | 250,000 円 | 700,000 円 | 100,000 円 | 「その他」の 100,000 円は, 「施設設備資金」 |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| 以下の奨学金により, 修学を支援している。 | | | | |
| ① 鈴木奨学金 成績・人物共に優れた者に対する給付型の奨学金 (給付額: 10 万円, 対象学年: 2 年・3 年, 採用人数: 各学年 2 名)。 | | | | |
| ② 大竹奨学金 成績・人物共に優れた者又は課外活動において顕著な成果を収めた者に対する給付型の奨学金 (給付額: 10 万円, 採用人数: 若干名)。 | | | | |

b) 学校評価

| |
|---|
| 自己評価結果の公表方法 |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページによる公表 http://www.nihon-u.ac.jp/about_nu/evaluation/self_evaluation/ |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) |
| 以下の①～③に該当する者の中から合計 3～5 名を任期 1 年として構成する。 ①卒業生 ②保護者・地域住民 ③学校の専門分野における関係団体・関係業界 (就職先企業, 施設等の実習先, 分野別の業界団体等) |
| 【評価項目】 |
| 基準 I 教育課程・学習成果 |
| ① 学生の学習を活性化し, 効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか |

② 教育課程及びその内容，方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また，その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

基準Ⅱ 学生の受け入れ

① 学生の受け入れ方針に基づき，学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し，入学者選抜を公正に実施しているか。

② 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。
また，その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

基準Ⅲ 教員・教員組織

① ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し，教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。

② 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。
また，その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

○進路指導における重点目標

【評価結果の活用方法】

評価結果を各学校ホームページにて公表し，広く社会に情報提供するとともに，今後の専門学校運営改善に資するために，指摘事項に対する改善方策を次年度初頭までに策定し，専門学校長の指示のもと実施していく。

また，改善方策の達成状況の点検を含めた自己点検・評価を実施し，その結果については，学校関係者評価による客観的視点において点検・評価を受けることにより，PDCAサイクルを機能させる。

学校関係者評価の委員

| 所属 | 任期 | 種別 |
|--|----|----|
| 学校関係者評価を確実に実施し，2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。 | | |

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
2020年度から評価を確実に公表する。

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
<https://www.mascot.nihon-u.ac.jp/college/>